

## ➤ 整形外科

隔日に定期検討会を開き、各患者さんごとに、原因、症状、経過、種々検査結果、そして治療法と予測される治療結果につきスタッフ全員で検討したうえで、患者さんの希望を第一とし、可能な限りより侵襲が少なくかつ最も効果的な治療法を選択しています。

### ◆治療の実際

---

#### 骨折

骨折の状態により種々最新の手術方法を積極的に採用し、早期社会復帰を目指しております。また、患者さんの希望によっては、治療効果に影響のない範囲で、保存的治療や外来での手術も行っております。

#### 変形性関節症

高齢化社会に伴い、変形性関節症は増加傾向にあります。当院では、専用の無菌室（クリーンルーム）での人工関節手術（年間 140 例）や人工関節を用いない骨切り術（年間 26 例）を中心に組み合わせており、安定した治療成績を得ております。また、関節鏡視下手術も低侵襲のため積極的に行っております。

#### スポーツ外科

膝の十字靭帯損傷、半月板損傷、反復性膝蓋骨脱臼、反復性肩関節脱臼、足関節の靭帯損傷等に積極的に治療を行い、スポーツへの復帰に取り組んでおります。関節鏡視下および併用手術は年間 280 例、自家腱移植による靭帯形成術、関節授動術は、年間 38 例となっております。

#### 軟骨損傷

当科では膝関節軟骨損傷に対する治療に力を入れており、三重県内での治療実績は最多となっております。診断に関しては令和 3 年 1 月より三重県内で初めて 3D-MRI 化ソフトを導入し院内検査分では画像処理を行う事で軟骨の厚みや半月板の形状の評価が可能となりました。

治療としては関節鏡下自家骨軟骨柱移植術（年間 7 例）や microfracture 法を積極的に行ってまいりましたが、平成 25 年 8 月に他施設に先がけ、保健医療での培養軟骨移植術の三重県最初の施設認定を受け、再生医療を開始致しました。2022 年は 3 例となっております。通算 39 例は現在症例数全国 8 位です。これにより損傷の面積や深度に応じたそれぞれの患者さんに最適な治療法を選択することが可能になりました。

### ◆主疾患治療プロトコール

---

人工膝関節全置換術：術後 3 週間にて退院

人工単顆膝関節置換術：術後 2 週間にて退院

人工股関節置換術：術後 3 週間にて退院

高位脛骨骨切り術：術後 3 週間にて退院

半月板切除術：最短で 3 泊 4 日にて退院

前十字靭帯再建術：術後 2 週間にて退院

大腿骨頸部骨折・転子部骨折：術後 2 週間前後で地域連携クリニカルパスにて近隣病院へ

## 転院

### ◆その他

---

第三次救急病院及び基幹病院として、あらゆる分野の整形外科的疾患の治療を行っておりますが、症状によってはより専門性の高い医療機関を紹介させていただいております。

当科では他院との病診連携に力を入れており、他院からの紹介も多く、紹介患者さん優先で診察を行っております。

また、症状の落ち着いた方に関しましては積極的に近隣の信頼できる整形外科の先生方にご紹介申し上げます。